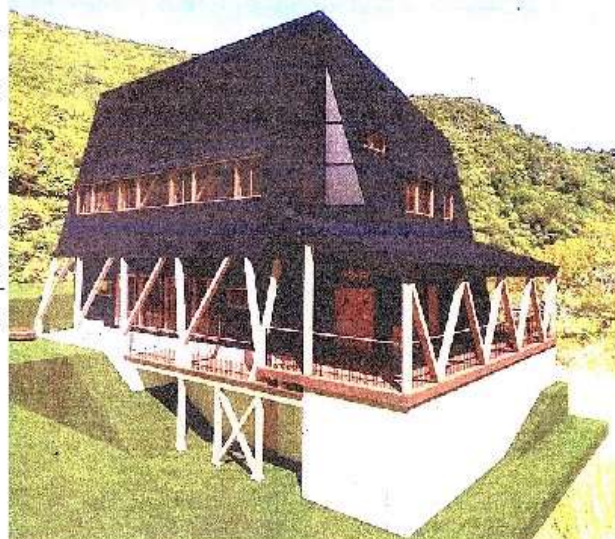


あだたら

第378号
発行所 扇町
市 松山市
本 松山市
あだたら
編集 編集

一月三十日

くろがね小屋建替工事説明会開催
報告 編集部



馬車道側から見た(現時点での)新小屋完成予想図

一月三十日に岳温泉「光雲閣」で、安達太良山のくろがね小屋の改築工事について、地元説明会が開催された。当会からは山口会長が参加。二月例会の席上、会長から説明があったが、この度配付資料を見せて頂いたので、工事について、お知らせする。

▼今年(令和五)は馬車道の補修と、電源ケーブルの布設が行われ、

▼解体工事は来年二〇二一年(令和三)年五月から始まり、翌々年二〇二三(令和五)年八月頃には営業再開(十、二月との話もある)、というスケジュール。
工事中には二階建ての仮設休憩所(浴場無しの避難小屋)が設置される。
新しい小屋は、収容人員

は現在と同じ五十人、二段ベット、エアコン設置。商用電源を引き込みオール電化を実現。屋外から利用できるトイレも設置。地下倉庫は噴火時のシェルターとしても利用可。外観も現在のイメージを継承している感じがある。
くろがね小屋は昭和二十四

年八月に初代小屋が開業、四年後の昭和二十八年八月に二棟となり、昭和三八年に現在の洋風に改築された。その時は八月から工事を始め途中、年内開館は難しいとの話(昭和三八年一月二日福島中央新報記事)もあったが、一月二日九日に冬季の仮営業を始めた。東京五輪の前年、今年で五七年目、気候も厳しく、硫化水素の影響も有る場所、よく頑張ってくれたと、皆でお礼言います。

●編集部連絡先
二本松市 本町1-5-15
0243(22) 4246
渡辺 正

年八月に初代小屋が開業、四年後の昭和二十八年八月に二棟となり、昭和三八年に現在の洋風に改築された。その時は八月から工事を始め途中、年内開館は難しいとの話(昭和三八年一月二日福島中央新報記事)もあったが、一月二日九日に冬季の仮営業を始めた。東京五輪の前年、今年で五七年目、気候も厳しく、硫化水素の影響も有る場所、よく頑張ってくれたと、皆でお礼言います。



完成当時の現くろがね小屋、馬車道には馬と荷車

サワアリパーク上の黒森山登山道に、山口会長が道標設置した。此の度、写真頂いたので、皆さんにお知らせします。
登山道の開鑿は二〇一八(平成三十)年春。山口(現会長)と山口(現副会長)が、気軽にトレーニングできる山として、森林組合の許可貰って進めた仕事だった(会報三六三号)。十二月十三日に予定されていた山行は降雪で中止、翌二〇一九年(平成三十一)年四月二十一日改めて山行を実施七名が参加、安達太良連峰の大展望に感激したものだ(会報三六八号)。
今までは登山口にも山頂にも道標がなく、地図読みをしっかりやらないと歩けなかった登山道だが、気軽に初めての人も歩ける事と

塩沢・黒森山に道標設置
報告 編集部

奥岳への途中から見た 黒森山
なった。安達太良連峰の雄姿・大展望を手軽に楽しめるので会員外の登山愛好家にも人気が出ることだろう。黒森山、なだらかな山と尖った山が見える。国土地理院地図では、西側のなだらかな山に三角点を置き、「黒森山」の表記をしているが、江戸時代には地元の人達は「尖り山」の方を黒森山と呼んでいた(会報三六三号)。そのことははっきりさせておきたい。



2. 途中の峠



1. 登山口



4. 黒森山頂



3. 舟石上の山頂への道



2019-04-21撮影の舟石

